

令和5年度 第1回仙台市泉区区民協働まちづくり事業評価委員会概要

開催日 令和5年6月28日（水）

出席委員 岩動委員長、田中副委員長、本郷委員

議 事 令和4年度区民協働まちづくり事業企画事業の事後評価

【事業報告】

区民協働まちづくり事業に関する要綱（平成14年3月25日市長決裁）第6条第2項第2号の規定に基づき、令和4年度企画事業実施団体より実績報告書の通り報告。

【質疑応答】 [Q：質問 A：回答]

・将監沼ふれあい事業

Q：決算額について、令和3年度より約30万円分決算額に差があるが何故か。

A：天候が悪く、4月～5月に事業ができないことがあった為である。

・いずみ朝市

Q：今年度の出店数は昨年度と比べて減ったのか。

A：1店舗減っている。高齢が理由で出店をやめるのが毎年1店舗はある。

Q：出店者を増やすために、広報面でなにかおこなっているか。

A：できる範囲で、募集の広報はおこなっている。

・泉ヶ岳利活用推進事業

Q：泉ヶ岳に泉ピークベースができたり、若者にキャンプ関係が注目されているが、連携等は考えているか。

A：詳細までは詰めていないが、泉ヶ岳界限で協力し合う仕組みや、物品を共有しあう状況づくり等は製作界限の考え方として、地元の方々と話し合っ進めていく考えはある。

・泉中央美化推進事業

Q：参加人数が増えているという事だが、何か工夫したのか。

A：令和2.3年もおこなったが、コロナ前までは受付を各団体おこない、開会式を行っていた。コロナ禍になり、受付等で密にならない様、事前に清掃範囲を伝え、ゴミ袋を渡しておき、開会式をおこなわない形にしたところ参加人数が年々増えていった。

Q：清掃エリアをふやさないのか。

A：歩道があるエリアでしか清掃ができない為、現在他エリアを検討中である。

・いずみのふるさと学事業

Q：春が中止になった理由は何か。

A：委員会でコロナ禍の中開催するのは感染拡大防止の観点から春のみ中止とした。

秋は密にならない様、移動のバスを1台のところ2台に増やし対応した。

Q：七北田宿が開宿400年記念で看板を作製したと思うがそれを活用する予定はあるのか。

A：現在、看板の他、泉中央市民センターに七北田宿コーナーを作成した為、看板おコーナーを活用できるイベントを検討中である。

・泉区民文化祭

Q：募集方法について、新たに検討していることはあるか。

A：現在参加団体が20団体であるが、学生がコロナ禍で参加していなかった為、今年度は学生にも参加して頂けるよう呼びかけていく予定である。

・泉区民ふるさとまつり

Q：例年14万人ほど来場者があると思うが、今年度は例年より来ると思われるが何か対策を考えているか。

A：警備面で警察に相談した際、同じように例年以上の来場者が来る予定で警備計画を練ってほしいと依頼があった為、現在調整中である。

・七北田川クリーン運動

Q：清掃後のアユ放流について、七北田川の水質ではアユは生存できないのではないか。

A：平成31年度に放流後のアユについて調査をしたところ七北田川の下流の堰に放流したアユが帰ってきていることは確認ができています。子供たちに清流の象徴であるアユを放流していただく事のできるきれいな川を保っていく意識を育てていく目的である為続けていく。

・泉ヶ岳悠・遊フェスティバル事業

Q：飲食の出店数を増やしてはどうか。

A：今年度は、令和元年度をベースに開催する予定だが、併せて泉ヶ岳周辺地区に飲食店の出店が増えている為、飲食ブースとして参加して頂けるよう声をかける予定である。

Q：イベント当日の渋滞について、対策はとるのか。

A：今年度は、昨年度より来場者用駐車場を増やす予定である。また、SNS等を使用し混雑状況などをリアルタイムで確認できるようにしていく予定である。

・区民意識普及啓発事業

Q：認知度を広める為、何か工夫があるか。

A：中学校や市民センターには区民憲章板を設置し、壁掛けができる憲章板を各コミュニティセンター等に配っている。また、青少年健全育成で少年の主張泉区大会がおこなわれる際に、各中学校に区民憲章のポスターを毎年デザインを変えて配布している。

・青少年健全育成事業

Q：地球のステージの応募がなかったのはコロナの影響なのか。

A：コロナの影響もあるが、地球のステージは過去の戦争をテーマにした講演会であり、ウクライナの情勢の影響で過去の戦争に興味を持たれなかったのではないかと考える。

Q：今年度は地球のステージはどのようにおこなうのか。

A：今年度から、地球のステージではなく震災の記憶～語り部から学ぶ～に変更して行う予定である。現在、小学校2校から後援依頼が来ている。

・地域子育て交流会

Q：大きなイベントを中止とした理由はなにか。

A：昔と比べると、子育て支援の団体・施設が増えたことで、泉区として支援体制が整ってきた為、イベントありきの内容ではなく、別の方法を検討する予定がある。

Q：全大会はどのような内容でおこなったのか。

A：ワールドカフェ形式をとりながら、グループでの情報共有をおこなった。

・大学連携地域づくり事業

Q：大学生が何をしたいのかをよく理解し、繋げるのが大事である。

・泉地区活性化事業

Q：泉区役所建替え後の広場を活用するうえで一般の方も使用できるようになるのか。

A：今後広場活用のルール等に関しては、業者と打合せしていく予定である。広場は出入り自由な場所として、広場を活用したイベントの実施などおこなえるよう考えていく。